



# 士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 38 No. 2855

## 2023-2024年度国際ロータリーのテーマ

2023-2024年度R I 会長 ゴードンR.マッキナリー

## 2023-2024年度R I 第2500地区テーマ

ガバナー鶴見誠一郎

今こそ変わる勇気を！さあ、一歩前へ

## 2023-2024年度士別ロータリースローガン

【勇気ある行動で友情と奉仕の実践へ】

～ Let's begin ～



世界に希望を生み出そう

- 会 長 / 菊地 昭通
- 副会長 / 山下 卓己
- 幹 事 / 福島 和秀
- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:00

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

RIホームページ <https://www.rotary.org>

第2942回例会 2024年 6月 10日

## 今日のプログラム

普通例会

## 前回(6月3日)の記録 普通例会

司 会	志村孝幸	会場監督
齊 唱	国家斉唱・奉仕の理想	
本日の出席	会員 43人中 出席者 29人 出席率 83.73%	
本日の欠席	榎本実男・加藤博・川東久聖・田中道也・中山義隆・奈良康弘・深尾幸夫 大橋直幸・神田裕教・近藤峯世・南條忠勝・法邑和浩・細川博司・前田孝幸 深尾幸夫・北村浩史	
メイクアップ	泉谷勇・谷村一史・宮崎隆雄・神田英一・佐藤元信・菊地仁・神田裕教 志村孝幸・福島和秀・谷温恵・織戸俊二・近井孝義	
ビ ジ タ ー ニコニコBOX	次年度ガバナー補佐 猿谷繁明様(名寄ロータリークラブ) 大橋直幸会員(長男結婚祝い)・志村孝幸会員(3クラブ親睦コンペ2位祝い) 近井孝義会員(ゴルフ100切祝い)・谷温恵会員(誕生祝い) 谷村一文会員(3クラブ親睦コンペ最下位記念・ニコニコ50万円突破記念) 井口裕史会員(娘婿CEO就任)・山下卓己会員(新会社事業開始記念) 佐藤元信棋院(3クラブ親睦コンペ終了御礼)	
	累計	501,000円

## 例会予定

### ■ 6月例会日 [ロータリー親睦活動月間]

- 6月 3日(月) 普通例会・理事会
- 6月 10日(月) 普通例会
- 6月 17日(月) 休会
- 6月 24日(月) 夜間例会

### ■ 7月例会日 [母子の健康月間]

- 7月 1日(月) 夜間例会・理事会
- 7月 8日(月) 普通例会
- 7月 15日(月) 休会(海の日)
- 7月 22日(月) 特別休会
- 7月 29日(月) ガバナー公式訪問

## ■会務報告.....菊地 昭通会長

昨日の3クラブゴルフ大会に参加されました会員の皆さんお疲れ様でした。

詳細はのちほどニコニコBOXで谷村委員長から報告があると思います。

次に新入会員の件ですが、5月の理事会において推薦書が上程され理事会で承認されました。氏名は、穴戸 淳さん。勤め先は穴戸建設で役職は専務です。建築業を営われています。生年月日は、1965年5月5日生で主な活動経歴として、士別青年会議所副理事長・専務理事・サフォーク研究会事務局長・士別観光協会理事を歴任されています。よってクラブ細則第13条第5節に基づいて、7日以内に異議申し立てがなければ入会と認め、7月に入会式をさせていただきます。谷 次年度会長よろしくお祈いします。

さて、来年2025年は戦後80年の節目の年になります。アジア地域で約2千万人、日本だけでも約310万人が亡くなったあの戦争は何だったのでしょうか。1945年6月と言えば、悲惨な持久戦で多数の住民を巻き込み犠牲となり、北海道出身者も1万人以上が戦死した「沖縄戦」であります。

米軍は沖縄を日本本土上陸の拠点とするため、1945年(昭和20年)3月26日に慶良間諸島に上陸、4月1日に沖縄本島の北谷町から読谷村にかけての海岸に上陸しました。

沖縄を防衛する第32軍は、兵士が爆雷を背負って米軍戦車に体当たりする自爆攻撃などで抵抗したが、圧倒的な物量を誇る米軍の前に後退し、第32軍司令部は5月下旬に首里を放棄して本島南端に移動しました。

防空壕やガマ(自然洞窟)に避難していた住民は、退却してきた日本軍兵士に食料を奪われたり、ガマなどから追い出され、米軍の攻撃にさらされて犠牲になるケースもありました。最激戦地の一つ、西原村(西原町)では、住民の46.9%(5106人)が死亡しました。当時は「軍官民共生共死」の方針の下、軍が全滅した際には民間人も死ぬという考えが住民に植え付けられていました。このため、複数人が固まっている場所で手りゅう弾を爆発させてり、親が子どもに手をかけた後、自らの命を絶つ集団自決の悲劇なども相次ぎました。

そもそも日本軍上層部はこの沖縄戦を、本土決戦の準備を整えるための時間を稼ぐ戦いと位置づけ、米軍をできるだけ長く沖縄に足止めさせるため、日本軍兵

士らはガマと呼ばれる自然洞窟に身を潜め、持久戦を繰り広げたが長期戦を戦うだけの兵力は不足し、地元住民を防衛隊や義勇隊に動員するとともに、少年ゲリラ兵「護郷隊」なども組織して抵抗を続けていました。

住民は、本土の守りを固めるための「捨て石」にされた結果、県民の4人に1人が亡くなるという多大な犠牲が出ました。そして、圧倒的な戦力の差があります。米軍は、本土上陸地点として宮崎県と鹿児島県を想定し、その際に航空支援を行うため、沖縄は兵たん・飛行基地を確保する上で必須の拠点と考えていました。そのため、約1500隻の艦船と約55万人の大量の兵員を投入し、艦砲射撃と大規模な空襲を行い、上陸後は火炎放射器などあらゆる近代兵器を使って日本軍を攻撃しました。ちなみに、日本軍の沖縄戦の戦力と言えば約10万2千人の兵員と約300から400隻の艦船であり、圧倒的な戦力の差でありました。

6月23日に第32軍の牛島 満 軍司令官と長 勇 参謀長、太田 実 海軍司令官らが自決し、日本軍の組織的な戦闘が終わりましたが、各地で小規模な戦闘が続いていた。この沖縄の戦いは、日本兵の戦死者よりも一般県民の犠牲者の方が上回っています。いかに激しい地上戦に県民が巻き込まれて多大な犠牲をもたらしたことが、沖縄戦の大きな特徴であります。沖縄県では、6月23日を二度と戦争が起らないために「慰霊の日」として県の条例で記念日と定め、沖縄戦の戦没者の霊を慰め平和を祈る追悼の日になっています。このような悲惨で残酷な戦争が二度と起こらないよう過去の教訓として後世に語り続けて平和の大切さ、命の尊さを胸に刻んでいかなければならないと思います。

## ■幹事報告.....福島 和秀 幹事

1. 今月のロータリーレートは1ドル157円となります。
2. 6月17日の例会は休会となりますのでお間違えの無いようお願いいたします。

## ■委員会報告報告.....泉谷勇プログラム委員長

1. 6月19日に新入会員を含めてのロータリー塾を開催します。
2. 6月10日の例会は濱野士別警察署長をゲストにお迎えして講話をいただきます。

## ■2024-2025ガバナー補佐 猿谷 繁明 様



皆さんこんにちは、ただいまご紹介に預かりました名寄ロータリークラブの猿谷です。本日は国際ロータリークラブ2500地区の第2分区ガバナー補佐として、小谷次年度ガバナーの思いを伝えに参りました。久木ガバナーの時には、土別ロータリークラブから第2分区ガバナー補佐に大野さんが就任されて、ガバナーと一緒に名寄にも来ていただいて、お話を聞いた時がありました。その時、ガバナー補佐としての挨拶の中で、ロータリーの哲学を教えていただけたなど、そう感じております。ガバナーよりもガバナー補佐の方がガバナーらしかったかなと、そんな思いをその時にさせていただきました。例会に出席することは私は一番の楽しみでありまして、特に夜間礼会では新入会員と一緒に新しい世界が広がる景色を見せていただいております。今年、名寄からガバナー補佐を出すのが順番だからと、会長から命令されました。私が一番思い出したのは、大野ガバナー補佐でした。ロータリークラブに対して大野さんの立派なお考えを聞かせていただいて、ただ単に時の流れに身を任せた30年間反省をさせていただきました。昨年8月にはガバナーの研修会会議は8回続いて、今回も続いております。冬は帯色の三国峠を越すのが大変でしたので、テレビ会議、ズーム会議をさせていただきました。ここまでで大体、私の90%は土別に来て、お話できることなんですけれども、今日は本来はクラブ協議会をしなくちゃいけないんですけれども、先日中頓別で立派なIMがありまして、土別を代表して福島幹事の発表がありました。みんな感動しました。少子高齢化がどんどん進んでいくときに、土別はこうやってるんだよってというお話を聞かせていただきました。このお話さえあれば、クラブ協議会する必要はないと思っています。ガバナーは4月の29日に土別にお越しになります。そのときには、会長、幹事、懇談会そして各委員長さんを集めてのいろんな相談会というか、意見交換会というのが企画されてまして、約45分それがあります。その後、土別の例会に公式

訪問となりますので、そのときはよろしくお願ひします。小谷ガバナーの人柄について私なりに少しお話ししたいと思ひます。1962年の2月20日生まれのガバナーは今年で62歳になるはずであります。札幌医科大学を卒業されまして1995年に医学博士の学位を取得されまして1996年から医療法人社団 典俊会で理事長をされております。2009年に帯広西ロータリークラブに入会されまして2021年に帯広西クラブの会長を務められております。ガバナーの掲げる地区スローガン、ロータリーに参画しましょう。誰かのために、あなたのために、そして自分のために地区活動方針5つを掲げられました。1つには、女性会員ゼロクラブを目指しましょう。女性を必ず入れてくださいということでありまして。2つ目は年次寄付のゼロクラブを継続しましょう。寄付をどんどんしてくださいという。要するに、国際ロータリーの希望であります。それから、奉仕活動経験ゼロクラブのゼロを目指しましょう。奉仕をもっともっと知ってほしい。ロータリーの公共イメージを認知し、さらなる向上を目指しましょう。最後には、3年間の目標と計画を立てましょうということでありまして。土別ロータリークラブの公式訪問のプログラムは、先ほど申し上げましたように、7月29日、月曜日10時半から11時15分まで会長幹事懇談会、11時15分から12時までが意見交換会、そして12時から13時まで公式訪問例会ということになっております。今日のクラブ協議会はその発表をもって、私の方で課題をガバナーにお伝えしたいと、そんなことでお許しをいただきたいと思ひます。その次にガバナーの方針については、会長の方針をいただいておりますので、それらについて発表したいと思ひます。7月29日ガバナー公式訪問のときには、またよろしくどうぞお願ひします。また土別クラブさんにおいては、谷会長を中心にして心一つにして土別ロータリークラブの発展のためにご尽力されますことをお祈りし、ガバナー補佐としてのご挨拶といたします。今日は本当にありがとうございました。

お誕生日おめでとうございます！



(谷会員・近井会員)